

第15回企業白書 『「市場の進化」と社会的責任経営 — 企業の信頼構築と持続的な価値創造に向けて — 』

「市場の進化」によって新しい経済社会を築く

【「市場の進化」とは何か】

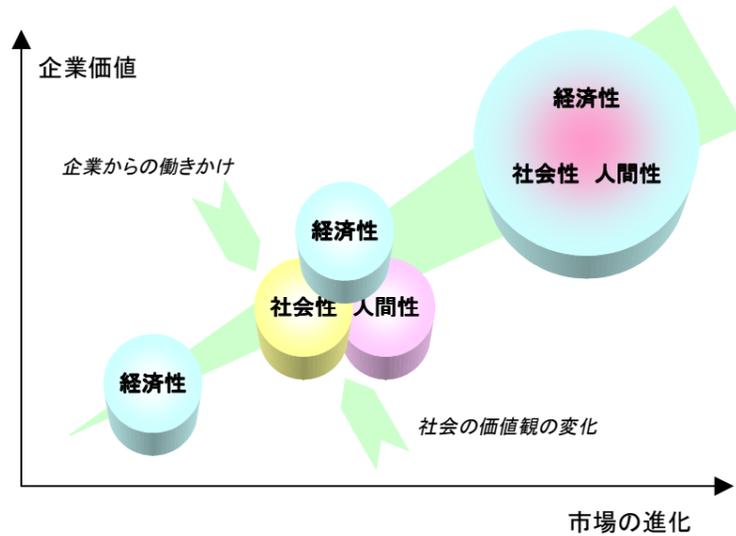
経済同友会が提唱した新しい経済社会を構築していくためのコンセプト。

【「市場の進化」によって企業価値は総合的に評価される】

「経済性」のみならず「社会性」「人間性」を含めた総合的な評価に。

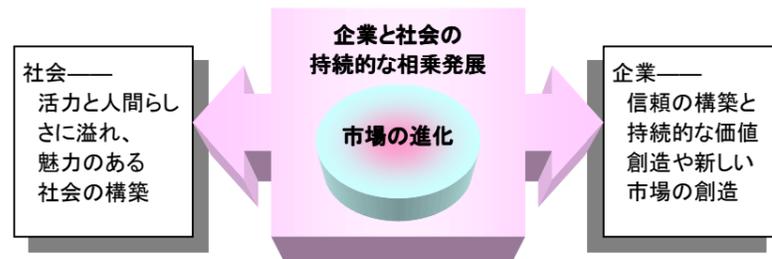
【企業は「市場の進化」に向けてイニシアティブを発揮すべきである】

市場の評価を受身で捉えるのではなく、自ら市場や社会に働きかけるべき。



【「市場の進化」によって社会と企業は持続的に発展する】

「市場の進化」により、社会の期待と企業の目的が自律的に調和する。



【進化しつつある市場の実現】

資本市場、消費者市場、サプライチェーン市場、労働者市場で「企業の社会的責任(CSR)」を重視する動きが加速。企業に大きな影響を与えつつある。

CSRによって社会と企業の持続的な相乗発展をめざす

【「企業の社会的責任(CSR)」とは何か】

- すべてのステークホルダーを視野に入れ、
- 経済・環境・社会など幅広い分野での社会ニーズの変化を捉え、
- それをいち早く「価値創造」や「市場創造」に結び付けることによって、
- 企業の「競争力強化」や「持続的発展」とともに、
- 「経済の活性化」や「より良い社会づくり」をめざす取り組み。

企業の社会的責任(CSR)の本質とは

経営の中核に位置付けるべき課題

—「経済的責任」と「社会的責任」が別々に存在するのではない。

持続的な発展をめざすための「投資」

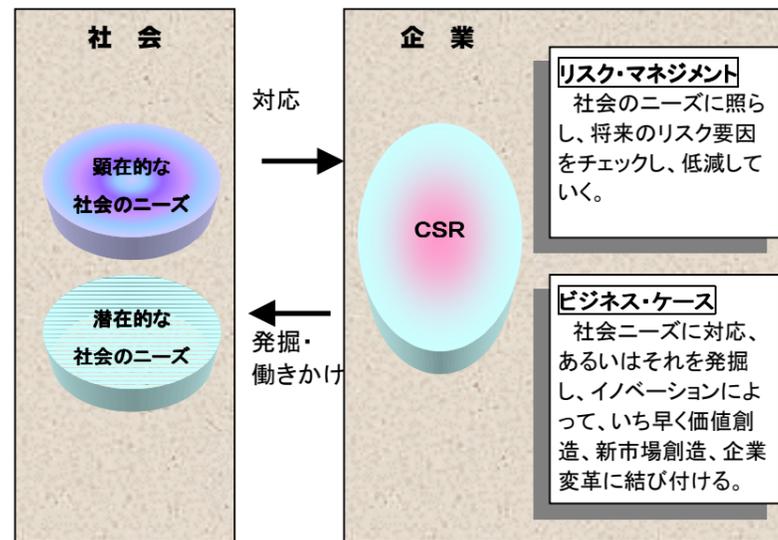
—いわゆる「社会貢献」のように払うべき「コスト」ではない。

新たなフロンティアに挑戦するための自主的取り組み

—法令遵守といったレベルにとどまるものではない。

【なぜCSRは企業の持続的発展や競争力向上に結び付くのか】

キーワードは「リスク・マネジメント」と「ビジネス・ケース」。

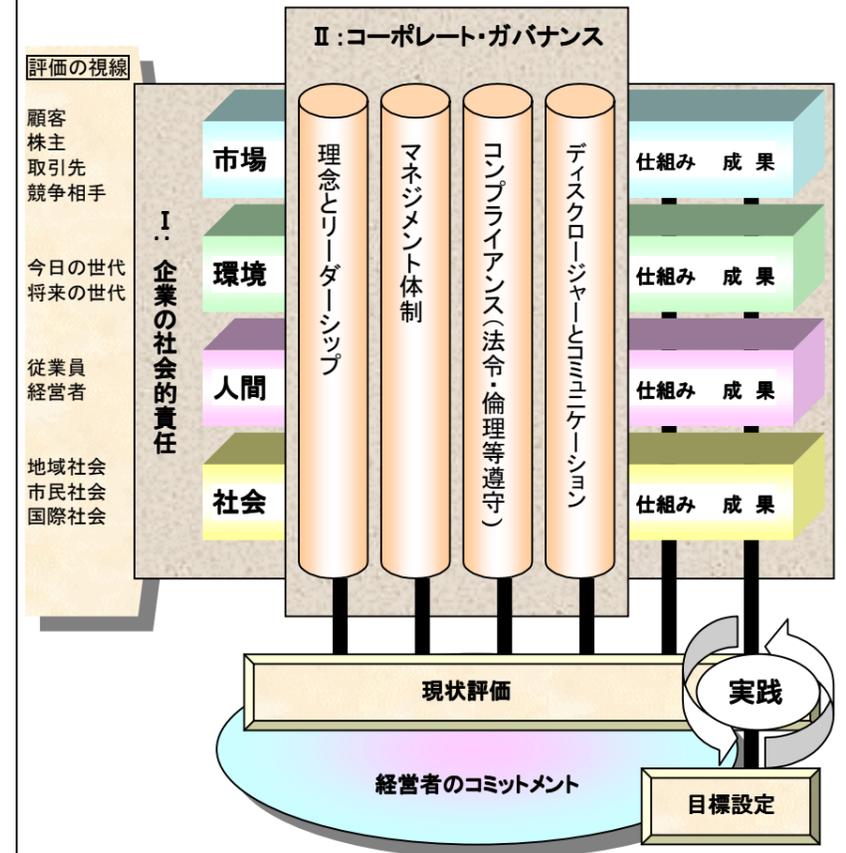


新「企業評価基準」によって具体的実践を促す

【新しい「企業評価基準」を提唱する】

議論の段階から一刻も早く実践の段階に踏み出すべき。

【評価の体系】



【本評価基準は具体的実践を促すためのツールである】

- 全部で110の設問項目から構成。
- 経営者自身による現状評価と目標のコミット(約束)を通じて、
- 具体的取り組みを促進していくためのツールであることが最大の特色。

【本評価基準を用いた取り組みを継続的に展開していく】

- 経済同友会の会員所属企業に対して評価実施を呼びかけ、
- 業種や規模別の平均像やベストプラクティスを明らかにし、
- 方法論を精緻化していく予定である。